

矢田野っ子 学びの道しるべ

令和6年10月
小松市立矢田野小学校

☆ 全国学力学習状況調査・県基礎学力調査について

- 1 6年全国学力学習状況調査結果（本校と県・国との正答率の比較）
6年県基礎学力調査結果（本校と県との正答率の比較）

	石川県	全国		石川県
国語(全国)	上回る	大きく上回る	理科(県)	上回る
算数(全国)	大きく上回る	大きく上回る	社会(県)	上回る
			英語(県)	やや下回る

2 設問から見える6年生の成果（◎）と課題（▲）

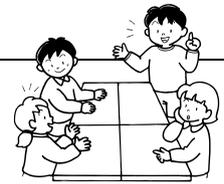
国語	算数
◎資料の内容をどのように整理したかについて説明したものを選ぶ。 ◎話し方を変えた理由や工夫として適切なものを選ぶ。 ◎メモがどのように役に立ったかを説明したものやメモの書き表し方の正しいものを選ぶ。 ▲登場人物の考えについて適切なものを選ぶ。 ▲物語の心に残ったところとその理由についてまとめて書く。	◎除数が1/10になったときの商が分かる。 ◎図形における展開図や底面や側面に関する理解 ◎整数÷小数の理解 ◎速さの意味の理解 ◎円グラフの読み取り ◎資料を読み取り、正しい式を選択する。 ▲問題場面を読み取り、正しい式を選択する。
理科	社会
◎日陰の位置と太陽の位置の変化についての理解 ◎乾電池のつなぎ方や乾電池をつないだ物と電流の向きと大きさの関係についての理解 ◎顕微鏡の正しい使い方 ◎昆虫のからだのつくり ◎メスシリンダー、温度計の正しい扱い方 ◎もののとけ方について実験結果を基に考え表現する。 ▲理科用語の定着「関節」「方位磁針」「検流計」 ▲異なる物で重さを一定にしたときの体積のちがい ▲土のつぶの大きさによる水のしみこみ方のちがい	◎石川県の地形と交通の様子の理解。また、気候の様子の適切な表現 ◎世界における我が国の国土の位置、領土の範囲の理解 ◎資料を基に考察したり、必要な情報を読み取ったりして適切に表現する。 ▲実際の距離や経度を地図帳を基に読み取る。 ▲消防署や警察署などの関係機関が連携していることについて表現する。
英語	
◎簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を聞いて必要な情報を得る。 ◎発音を聞いて活字体の大文字、小文字を書くことができる。 ▲日常に関する身近で簡単な事柄について具体的な方法を聞き取る。 ▲日常に関する身近で簡単な事柄について読み、必要な情報を得る。	



3 全国・県質問紙調査の結果から

良好なもの

- ◎基本的な生活習慣に関すること（朝食 起床 就寝等）
- ◎困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- ◎家庭学習の時間
- ◎学級をよりよくするために学級会で話し合い問題解決する。



課題となるもの

- △ネットやゲームをする時間 △自分には良いところがある。
- △いじめはどんなことがあっても許されない。
- △学校に行くのは楽しい。
- △地域や社会をよくするために何かしてみたい。
- △ICTの活用

☆ 全国学力学習状況調査、県基礎学力調査、質問紙調査を踏まえた改善策について

1 学校での取り組み

基礎・基本の定着 活用力の向上に向けて

- ・朝自習や矢田野タイムで計算や漢字練習を行い、基礎・基本の定着を図る。
- ・学期末に、漢字・計算テストを全校で行い、定着の様子を確認し、支援の必要な児童に対して手厚く支援する。
- ・矢田野タイムを中心に活用力・思考力を問う問題に取り組み、筋道を立てて表現する力をつける。身についた学力が日常の中で使えるよう意識し、教科の枠を超えて活用できる場面を作っていく。

授業や学校行事を通して

- ・授業の中で、児童の学び合いの時間を大切にし、聴いて、考えて、話す力を育成していく。友だちの考えを聞いて、自分の考えを深め、表現し、共に高まっていける集団づくりを目指す。
- ・道徳の時間の充実を図る。
- ・学校行事、縦割り活動を充実させ、一人ひとりの自己効力感や達成感を高めるようにしていく。
- ・学習用端末を授業の中で積極的に活用する。（個別学習、協働学習）
- ・地域学習や体験的活動を大切にし、地域に愛着や誇りを持てるような学習を進めていく。



2 ご家庭にお願いしたいこと

家庭学習のできる環境づくり

- ・自学では、自分で課題を考えたり、基礎・基本定着のための漢字や計算の繰り返し練習を行ったりしています。家庭での学習の様子を見ていただき、声かけをしてあげてください。単元末テストや校内一斉漢字・計算テストへ向けて、励ましをお願いします。

家庭でのルールづくり

- ・質問紙の調査からネット・ゲームの時間の長さが課題として見られました。ネット・ゲーム等のルールも今一度ご確認をお願いします。

保護者の皆さまの働きかけが、子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。お子さんとふれあう時間を大切にしてください。親の愛情は子供のエネルギーです。

家庭と学校が連携して 健やかな子供の育ちを見守りましょう。